

防災訓練では大勢の方にご参加いただき、ありがとうございました。本訓練は自主防災隊が主体となり、企画・運営をいたしました。当日は警察署の方、消防署の方にもご協力いただき、皆さんの力を結集し無事実施できたことを、心より感謝申し上げます。防災についての知識を少しずつ身につけ、命を守っていかれたらと思います。今後ともご協力よろしくお願いします。

防災隊長 倉光典子

## ★6・30 防災避難訓練の結果とご報告 本部長 嶋田秀行

心配した天気は「防災訓練」日和に恵まれ、多くの自治会員の皆様にご参加頂きました。（貝がら公園；237人、つくし野駅前；205人、宮前公園；119人）

### 防災・避難訓練 安否確認・報告 集計

会員世帯戸数	689世帯
会員家族総数（申告世帯639世帯）	1,712人
参加戸数	412世帯（59.8%）
参加人数	561人（32.8%）
OKプレート吊り下げ戸数	459世帯（66.6%）

前年までの訓練の反省を下に立案し、準備と周知の広報を重ねてまいりました。結果6割の会員世帯、3割強の住民の方にご参加頂きました。「防災の意識が高まった」「ご近所の方とお話が出来てよかった」とのご感想からもうかがえる様に、今回の訓練目的（OKプレートを使った班内の安否確認、情報連絡、簡易トイレ紹介）には一定の成果があったと思います。一方、4割の会員世帯7割弱の住民の方にご参加頂けなかった事実も冷静に受け止め、今後の課題と致します。申告世帯数は随分増えました。（66世帯173人↑）防災の共助の要は「班」です。今回の成果も班長さん（副班長、連絡係）が率先して頂いたお陰です。自助、共助、備える事はまだまだありますみなさま、ご協力ありがとうございました、今年1年よろしくお願いいたします。



★ごあいさつ 防災部長 石原啓司

防災部に所属して解ったことは、立場が変わると視点が変わり、危機感なしに毎日を過ごしていた自分に気が付きます。災害は来なければ幸いですが、一度発災すれば私たちの生活は大きく影響を受けます。例えばここ10年でも阪神大震災、スマトラ大津波、中越地震他、多数の地震災害等がありましたが、自分が経験しなければ「自分は大丈夫！」他人の経験を自分の事と思うことが少なかったようです。



3.11以降相当の方が危機感をもち自主防災隊本部を立ち上げました。それでも自主防災隊本部各班とも人員数が十分でないように思えます。地震予知はほぼ不可能ですし、いつ災害が起こるか誰にも解りません。その時に適切に機能するように、皆様のご都合もあるかと思いますが、余力のある皆さま方のご参加をお願いしたいと思ひます。

★おびにおん 副本部長 齊藤勝利

自主防災隊本部、救出救護班の活動は、負傷者の救出や応急手当の実地等専門的な平常時の訓練が必要となります。



昨年は、救出救護班員3名が上級救命技能講習（AED業務認定）を受講致しました。

また、防災隊本部員及び自治会防災部合同で消防署指導員による応急救護訓練として、心肺蘇生法やAED機器の使用法の講習を受講致しました。

今後の救出・救護班としての取り組みは1・2丁目自治会町内において、医療業務に従事する医師・看護師・薬剤師及び医院や薬局も含めた災害発生時の緊急協力体制のネットワークを早急に確立出来るように活動していきます。

★衛生担当から 小西マリ子

大災害時に備えて、水と食料、取りあえずの生活用品等はほとんどの家庭で常備している事と思ひます。ただ、トイレの事まではなかなか意識がいかなくなったり、正しい知識が浸透していなかったりではないでしょうか。過去の震災時にもトイレと衛生面についてはかなり深刻であったようです。自主防災隊にも「衛生班」なるものがなかったため、この度新しく立ち上げました。

色々学んでいながら、皆様に情報提供できたらと思ひます。先日の避難訓練では、非常時のトイレの使い方のデモンストレーション、家庭でのポータブルトイレ等の常備のお勧めなどをいたしました。

衛生面から考えた常備品、必需品等も今後折にふれ具体的にお知らせ出来たらと思ひます。

